

授業科目 カウンセリング技法

【担当教員名】 高森 美紀子		対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・装具・看護
		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】 カウンセリング技法の概観を学び、その技法を使って人を援助する前提として個人の持つ「準拠枠」を知ることが大切と考えるので、「自己理解」「自己一致」を学習する。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】 1 社会福祉に於けるカウンセリングの重要性を理解する。 2 カウンセリングの諸技法を知る。 3 個々の「準拠枠」を理解する。					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	自己開示				ワーク
2	カウンセリング技法				講義・ワーク
3	カウンセリング技法				講義・ワーク
4	技法の色々				講義・ワーク
5	交流分析と自己理解				講義・ワーク
6	交流分析と自己理解				講義・ワーク
7	自己を知る				講義・ワーク
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)		「わかりやすい交流分析」	杉田峰康	チーム医療	1984年(2007年新装) 1260円
参考書					
その他の資料		必要に応じて印刷教材を配布する。			
【評価方法】 出席状況及びレポートにより評価する。			【履修上の留意点】		